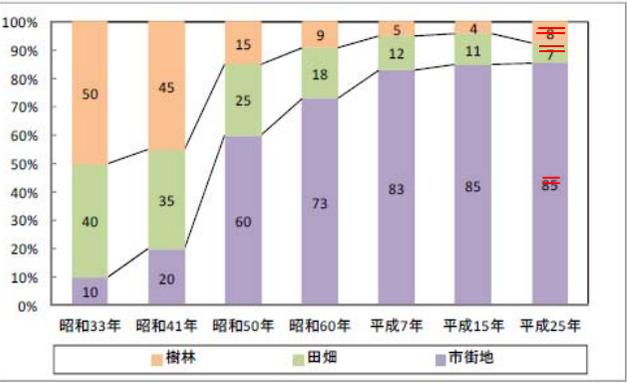
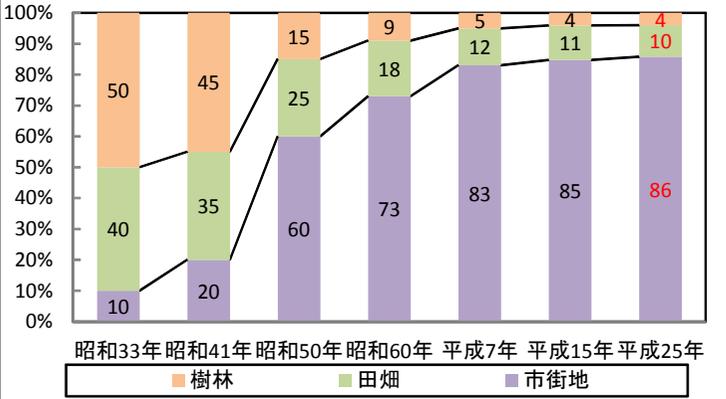


○ 正誤表 (2016.12.22)

該当頁	誤	正
11p	<p>2.2.2 土地利用</p> <p>土地利用を樹林・田畑・市街地の3つに区分して、鶴見川流域全体における昭和33年(1958)から平成25年(2013)に至る55年間の土地利用の変遷を整理した。これによると、樹林と田畑を合わせた自然地は、昭和33年(1958)では流域全体の90%を占めていたものが、平成25年(2013)には<del>15%</del>にまで低下した。</p> <p>図 2.2.2 流域における市街地率の変遷</p>  <p style="color: red; font-size: small;">※平成15年と平成25年は土地利用の算出方法が異なる</p>	<p>土地利用を樹林・田畑・市街地の3つに区分して、鶴見川流域全体における昭和33年(1958)から平成25年(2013)に至る55年間の土地利用の変遷を整理した。これによると、樹林と田畑を合わせた自然地は、昭和33年(1958)では流域全体の90%を占めていたものが、平成25年(2013)には<del>15%</del><u>14%</u>にまで低下した。</p> 



該当頁

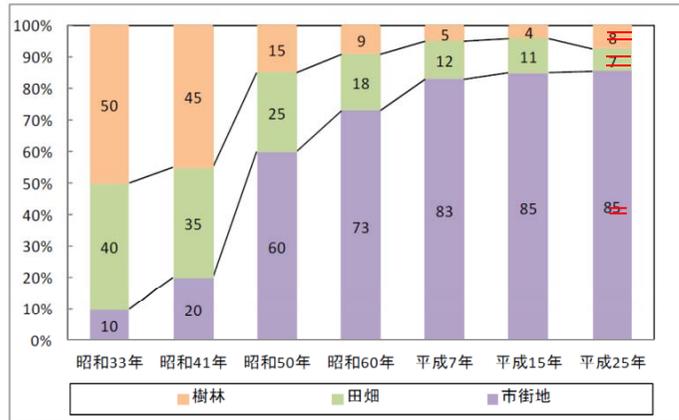
誤

38p

### 3.3.1 流域の生物多様性

#### (1) 流域の自然地

図 3.3.1 流域の土地利用変化



正

